長崎市議会議員 向山 宗子

長崎日英協会・長崎県ラグビーフットボール協会(U15選手24名)の皆様方と共に、長崎市公式訪問団の一員として、英国・スコットランドのアバディーン市、エディンバラ市を訪問させていただきましたので、所感を申し上げます。

# ☆ アバディーン市長表敬訪問

市庁舎は、荘厳、重厚な建築物で入口からセレモニーを行う部屋、調度品に至るまで歴史と文化の重みを感じさせられるものでした。

幕末の長崎において、日本の近代化に貢献した、 グラバーの出身地であるアバディーン市。両市長 の「過去だけでなく、未来にわたって、両市、両 市民の友好が深まっていくように」との挨拶に心 からそう願いました。



# ☆ 水素ステーション視察

再生可能エネルギーの実用化に向けて、ヨーロッパの中でも先進的な取り組みをされている、キティブルースター水素燃料補給所を視察。水素バスで移動し乗り心地も体験させて頂きました。

大変、静かで高齢者の方たちからも好評である との事。まちなかにある施設も騒音も少ないよう で、EUの支援を受けての実験段階ということで したが、再生可能エネルギーの実用化は喫緊の課 題であるので、有意義な視察でした。



# ☆ グラバーハウス・海洋博物館視察

グラバーの両親が住まわれていた住宅を訪問。保全工事のため、中に入ることができず、残念でした。門柱には、『THE SCOTTISH SAMURAI』との表記がありました。アバディーンではグラバーはあまり知られていないとの事で、海洋博物館にグラバーに関する展示があり、グラバーがアバディーンで造り、長崎に運んだ船の模型や図面。日本の近代化に貢献したことなど、紹介されていました。そこで戴いたグラバーの冊子は、帰国後、知人を通じてグラバーさんの親類にあたる方にお渡しができ、大変喜んでいただけた後日談もありました。

# ☆ アバディーン市長主催夕食会

市庁舎にある特別広間である「タウン・アンド・カウンティホールにおいて、市長主催の夕食会に参加。

市関係者のほか、アバディーンで学んでいる日本人留学生や日本企業に勤めているイギリスの方など多くの方々から大歓迎を戴きました。今後の経済交流など未来に向けた話題などにも花が咲き有意義なひとときとなりました。



(写真「アバディーンの市会議員、キャスリン・マクファーレンさんと。」)

#### ☆ ラグビー交流試合観戦

ジュニア・ラグビー長崎県選抜選手とエディンバラ代表チームとの交流試合を観戦。始めは押していたものの惜敗しましたが、ひとまわりも体格の大きいエディンバラの選手に果敢に挑んでいく姿に感動しました。

今回の事業は、子ども達にとって、大変大きなまた貴重な経験だったと思います。今後、素晴らしいプレーヤーに成長して欲しいと思いました。

# ☆ エディンバラ・ミリタリー・タトゥー視察

スコットランドラグビー協会のご配慮で、エディンバラ城で毎夏開催されている同パフォーマンスを視察させていただきました。

スコットランド伝統の軍楽隊によるバグパイプ演奏や民族舞踊など圧巻でした。文化と伝統をいかに魅せるか。考えさせられ、とても有意義な時間でした。

# ☆ 事前キャンプ調印式 ほか

今回の公式訪問の主題ともいえる、2019 年ラグビーワールドカップ開幕前の10日間の事前キャンプを長崎で行う正式合意書にサインする調印式が行われました。

スコットランド最大のラグビーの聖地・マレーフィールドに日本とスコ

ットランドの国旗を掲揚して歓迎 して下さったスコットランドラグ ビー協会のお心に感謝と感動をお ぼえました。

調印式の後、エディンバラチームの練習やスタジアム、ロッカールームなども見学させていただき、スコットランドのラグビーの底の深さ、層の厚さを痛感しました。



### ☆ スコットランドラグビー協会主催レセプション

スコットランド最後の夜、宿泊したホテルで開催された同レセプションは、本当に楽しく語らい合い、笑い合った思い出深い会食となりました。

スコットランド伝統のタータンキルトの模様は登録制だそうですが、今回、長崎のデザインを登録してはどうかとの提案があるなど、長崎とスコットランドのこれからの交流推進の期待も。長崎での再会を約して会は終了しました。

今回の公式訪問で、英国が歴史と文化を重んじる国柄であり、スコットランドと長崎を繋いだ、トーマス・ブレイク・グラバーの存在が大きく、信頼の絆になっていることを強く感じました。

そして、その友好関係を過去だけでなく未来に拡げて行くことを確認し合えたことは、大きな意義があったと思います。2019年、ラグビーワールドカップ事前キャンプを長崎市民の皆様と共に盛り上げていきたいと思います。